

【文教厚生委員会 決算審査の様子】



問 状況をどのように考えますか。本来0件でなければならぬと考えており、今後は契約書の作成方法なども含めて、改善できるように検討していきます。

教員の資質向上について

問 半田市としてどのような取り組みを行っていますか。

答 研修等は基本的に県や知多五市管内で実施しています。半田市としては、新たに赴任した教員向けの研修「半田を知る会」や教科ごとの研究会を行っています。

建設産業委員会

観光振興事業

問 観光振興を3つの重点分野の1つと掲げている中で、経済効果が見えづらいですが、半田市の観光振興はどのような方向性で進めていますか。

答 半田市は観光だけで経済が成り立っている市ではなく、観光振興は経済活性化の1要素だと考えています。また、観光振興を進めていく中で市民が半田市に愛着を持ってもらうことも目指すべき方向性の1つと考えています。

工業団地造成事業

問 工業団地の造成について企業庁を介して出来ない場合、半田市が直接国に農地の転用を申請し、工業団地を造成することはできますか。

答 農地の転用について、企業庁が行う場合は問題なくできますが、市が独自で行う場合は、許可基準を満たさなければならないため、時間がかかるうえ、許可が下りる保証がないため、市が独自で行う考えはありません。今後、

工業団地の造成にあたっては、迅速に企業庁に事業化の決断をしてもらえよう取組んでいきます。

畜産臭気監視事業

問 臭気軽減のために、どのような取組みを行いますか。

答 家畜糞尿乾燥過程における水分量が大きく関わることを踏まえて、昨年度は全畜産施設に対して、3回の現地調査を実施し、臭気及び含水率を測定した結果、市の注意喚起基準及び悪臭防止法の規制基準を超えた畜産農家にに対し、指導、助言を行いました。

墓地管理事業

問 市営墓地の使用者不明区画について、令和2年3月31日現在、1664区画あるという事ですが、課題解決に向けてどのように取組みましたか。

答 墓地への置手紙の配付は、令和元年度末までに一通り完了させることを目標として調査を進めてきました。しかし、この方法ですべての使用者を特定することは難しいと考えています。今後は別の

【建設産業委員会 決算審査の様子】



方法も併用しながら、早期に使用者の把握に努め、墓地管理の適正化に努めます。

地球温暖化対策事業

問 市長が2050年CO2排出量実質ゼロを目指すと言われた中で、どのように取組みましたか。

答 民間のバイオマス発電事業に対する支援等、再生可能エネルギーの普及啓発に取組みました。今後も「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、各種の取組みを打ち出していきます。

決算審査に係る 反対討論

中川健一議員

赤レンガ観光拠点化事業は年間約6千700万円もの半田市民の税金を使います。しかも費用対効果も説明できず、令和元年度の貸付利用率はわずか22.2%のことです。間違った税金の使い方です。赤レンガ建物は、図書館や子育て支援センターとして半田市民が活用をするか、民間事業者が年額2千400万円で貸し出すように変更を求めます。

鈴木健一議員

反対理由としていくつかを述べます。1点目はリニア中央新幹線愛知県期成同盟負担金ですが、現状静岡県と長野県において、地下水に多大な影響を与え、知事が工事を止めています。次に国民にとって、メリットが少なく、個人情報保護の信頼性が薄い個人番号交付事業です。積極的な取得を進めるべきでは無いと考えます。